

好き! を仕事にした 女性物語 51

「花」というツールを軸に、
お客様のニーズの半歩先を行く
商品づくりをしていきたいですね



フラワーデザイナー
サカザキ リョウさん (30歳)

●ブーケなどのブライダルアイテム、アレンジメント、フラワー教室などを手掛ける「グリーンネックレス」代表。アトリエ「ブライズガーデン」は札幌市中央区南3西8-2-1エルミタージュ2F、TEL011-281-8717。http://www.green-n.com

「これを仕事にしたい!」
フラワーデザインに熱中
子供の頃から好きなモノ作りを仕事にできれば。そんな気持ちは持っていたが、「実際には無理だ」と思っていました。それが、たまたま花に出会って、これを仕事にしたい!と思っただけです。それから、フラワーデザインに没頭。「寝ずに何かに熱中するような経験はなかったんですが、花だけは違いましたね。手仕事は得意なのに、最初はなかなか上手くいかなかったことも「できるよ」になんかという気持ちに拍車をかけた。努力は確実に実り、厳しくも後押しをしてくれた師匠をはじめ多くの「人」にも恵まれて、ブーケ制作から押し花ブーケ、ブーケの花をガラスに封じ込めた箸置き、引出物、ウエルカムボードなど扱うブライダルアイテムを増やしている。

その人らしさを一番大切に
して満足度をアップ
ブーケは、新婦の希望やドレスの写真などをもとに打合せを重ね、綿密なカルテを作って制作に当たる。「挙式後、メールなどでお客様から喜びの声を聞いた時が一番うれしい」。満足度を高める秘訣は、「お客様が求めているものの10%増しにすること」。サカザキさんが感じたその人らしさをプラスする。それが「グリーンネックレス」ならではの魅力でもある。「私は芸術家ではなく、商業デザイナーだと思っています。だから、常に考えているのは、お客様のニーズの半歩先に行くこと。お客様の手の届くところにあって、ステキだなと思ってもらえる商品、話題になる商品づくりをしていきたいですね」。花というツールを軸に、仕事はますます広がっていきそうです。

「プロ」だからこそ
学ぶことを意識

「本をたくさん読む、食事をきちんと取る、美術館などでできるだけいろいろなものを見る」ことを心がける。花の師匠からの指導はもちろん、関連資格の取得を目指す勉強も継続中。

好き
のために
していること・したこと



HP、アトリエで
バージョンアップ

01年から本格的にフリーで活動を始め、教室もスタート。03年にホームページを開設し、アトリエもオープン。札幌を中心に全国から寄せられる注文にスタッフとともに応じている。

レッスンを受けながら
実践も経験

ブーケを作ってくれた先生に師事。並行して友人のためにブーケを作る機会が増え、次第に依頼が広がるように。フラワーのほかカラーコーディネートなどの資格も取得した。

全ての始まりは
結婚式のブーケ

大学を卒業後、OLとして勤務。24歳で結婚する時にアレンジメントフラワーの先生を紹介してもらい、出来上がってきたブーケの素晴らしさに大感動。「仕事にしたい!」と決意。

好き
に
向
つ
た
プ
ロ
セ
ス